

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正いたします。ご迷惑をおかけし申し訳ございません。
S1823-14 の正誤表では、P.169、P.171 の訂正事項が不適切でした。本正誤表で訂正させていただきます。

C A S L プログラミング (第 2 版 第 5 刷用訂正版)

No.	訂正箇所	誤	正
1	P100 下から 4 行目	070 行目では比較する.....	090 行目 では比較する.....
2	P106 プログラム 75 行目追加	075 JZE LEND (データが#0000 のとき。無限ループしてしまうため)	
3	P135 〔プログラムの解説〕の下 4 行目次の行では GMOJI 番地から文次の行では MOJI 番地から文
4	P156 プログラム	230 JZE LOOP4	230 ; (コメント行にする)
5	P157 プログラム	390 NM1 DC 99	390 NM1 DC 98
6	P171 設問 4 プログラム先頭行 GR1 の値を GR5 で復元する必要があり、 LD 命令を追加します。	LAD GR3,16	LD GR1,GR5 LAD GR3,16
7	P177 プログラム 13 行目 コメント行	13 GR 0 なら LOOP3	13 GR > 0 なら LOOP3
8	解答・解説 P32 問 4-4 設問 4 解説	(訂正後解説) 挿入先のデータ DST で残るのは、左端第 15 ビット～第 15 - p + 1 ビットまでの p ビット分のデータと、第 15 - p ビット～第 m ビットまでの 16 - p - m ビット分のデータです。 DST の内容は GR2 に退避されていて、29 行目の SLL 命令によって、p ビット左にシフトされているので、さらに左に 16 - p - m ビット論理シフトすれば、捨てられるビット列を左詰めで格納できます。よって、解答は(イ)の SLL GR2,0,GR3 になります。	